

微分積分（3） 実数解の個数「定数分離」

1 基礎編 [8.2]

x の方程式 $x^3 - 12x + 7 = a$ ……① の異なる実数解の個数が、定数 a の値によってどのように変化するか調べたい。

- (1) 関数 $y = x^3 - 12x + 7$ のグラフの概形をかけ。
- (2) (1)のグラフを参考にして、方程式①の異なる実数解の個数を、定数 a の値で場合分けして答えよ。
- (3) 方程式①が異なる 2 個の負の解と 1 個の正の解をもつように、定数 a の値の範囲を定めよ。

[2] 関数 $f(x) = x^3 + 2x^2 - 4x$ について、次の問い合わせに答えよ。

- (1) 曲線 $y=f(x)$ 上の点 $(t, f(t))$ における接線の方程式を求めよ。
- (2) 点 $(0, k)$ から曲線 $y=f(x)$ に引くことができる接線の本数を調べよ。

※対策編[5 1]に取り組もう！